

評価基準

教科	国語	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
力を合わせてばらばらに	1	○様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)才) ○必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表 A(1)工)	様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)才)	話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)工)	積極的に、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって、情報を集める話し合いをしようとしている。
春のうた	1	◎詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表 C(1)工)	詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク)	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)工)	積極的に情景などを具体的に想像して読み、学習課題に沿って、想像しながら詩を音読しようとしている。
なりきって書こう つづけてみよう	1	○修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)力) ○書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表 B(1)才)	修飾と被修飾との関係について理解している。((1)力)	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)才)	進んで感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、なりきって想像したことを書こうとしている。
白いぼうし	7	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)才) ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表 C(1)イ) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク)	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)才) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク)	「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ)	進んで登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、不思議なところについて考えたことを話し合おうとしている。
図書館の達人になろう	1	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)才)	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)才)		進んで読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づき、これまでの学習をいかして、本の探し方を考えながら学校図書館で本を探そうとしている。

評価基準

教 科	国 語	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字辞典を使おう	2	◎漢字辞典の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	漢字辞典の使い方を理解し使っている。(2)イ)		進んで漢字辞典の使い方を理解し、学習課題に沿って、漢字辞典を使って調べようとしている。
春の楽しみ	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア)	様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に春の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、春の行事の様子を伝える手紙を書こうとしている。
聞き取りメモのくふう 【コラム】話し方や聞き方からつたわること	6	◎必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表 A(1)エ) ○相手を見て話したり聞いたりすることができる。(知・技(1)イ)	・相手を見て話したり聞いたりしている。(1)イ) ・必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。(2)イ)	「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ)	粘り強く必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話の中心を捉え、学習の見通しをもって、聞いたことを伝えるためにメモを取ろうとしている。
カンジーはかせの都道府県の旅1	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)		進んで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。
漢字の広場①	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)エ)	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
思いやりのデザイン		◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること	・接続する語句の役割、段落の役割について理解してい	・「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、	粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係など

評価基準

教科	国語	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アップとルーズで伝える 【じょうほう】考えと例		ができる。(知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表 C(1)ア) ○接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)力) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表 C(1)才)	る。(1)力) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)才)	について、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、自分の考えを伝え合おうとしている。
お礼の気持ちを伝えよう	4	◎相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ)	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ) 【	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	進んで相手や目的を意識して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって、お礼の手紙を書こうとしている。
漢字の広場②	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)工) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)工)	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)工)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)工)	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
一つの花	7	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表 C(1)工) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)才)	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)才)	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	粘り強く、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、心に残ったところを伝え合おうとしている。

評価基準

教科	国語	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
つなぎ言葉のはたらきを知ろう	2	◎接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)力)	接続する語句の役割について理解している。((1)力) 【		積極的に接続する語句の役割を理解し、これまでの学習をいかして、つなぎ言葉を使って文を書こうとしている。
短歌・俳句に親しもう(一)	1	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((3)ア)		進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、短歌や俳句を音読したり暗唱したりしようとしている。
【じょうほう】要約するとき	2	◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(思・判・表 C(1)ウ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ)	粘り強く目的を意識して中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、文章を要約しようとしている。
新聞を作ろう 【コラム】アンケート調査のしかた	10	◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表 B(1)イ) ○比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア)	比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。((2)イ)	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)	進んで書く内容の中心を明確にして構成を考え、学習の見通しをもって、新聞を作ろうとしている。
カンジーはかせの都道府県の旅2	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)		進んで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。
夏の楽しみ	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中	様子や行動を表す語句の量	「書くこと」において、相手	積極的に夏の行事やその様

評価基準

教科	国語	学年	4学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア)	を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ)	や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、夏の行事の様子を俳句で表現しようとしている。
本のポップや帯を作ろう 神様の階段	5	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表 C(1)力)	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)力)	積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって、本をポップや帯で紹介しようとしている。
忘れもの ぼくは川	2	○詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表 C(1)オ)	詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。((1)ク)	「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	進んで二つの詩を読んで理解したことに基づいて感想をもち、学習課題に沿って、詩から受けた印象を伝え合おうとしている。
あなたなら、どう言う	3	◎考えとそれを支える理由との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)オ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・考えとそれを支える理由との関係について理解している。((2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	積極的に、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習課題に沿って、異なる立場に立って話し合いをしようとしている。
パンフレットを読もう	2	◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表 C(1)ウ) ○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表 C(1)オ)	読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)	・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	積極的に目的を意識して中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、パンフレットの工夫について話し合おうとしている。

評価基準

教 科	国 語	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
どう直したらいいかな	2	◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)エ) ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)力) ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ)	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。((1)力) ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。((1)キ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	進んで文章の間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、学習の見通しをもって、文章を推敲しようとしている。
いろいろな意味をもつ言葉	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○国語辞典の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	・様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・国語辞典の使い方を理解し使っている。((2)イ)		進んで様子や行動を表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、言葉遊びの詩を作ろうとしている。
ローマ字を使いこなそう	2	◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書くことができる。(知・技(1)ウ)	日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。((1)ウ)		積極的にローマ字の表記を考え、これまでの学習をいかして、ローマ字を書こうとしている。
漢字の広場③	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)力) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)エ)	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・接続する語句の役割について理解している。((1)力)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
ごんぎつね 【コラム】言葉を分類しよう	12	◎言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表 C(1))	言葉には性質による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。((1)オ)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想をもち、学習の見通しをもって、物語の結末についての感想を書こうとしている。

評価基準

教 科	国 語	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		才) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表 C(1)工)		・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)才)	
漢字を正しく使おう	2	◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○第4学年までに配当されている漢字を読み、第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第4学年に配当されている漢字を漸次書くことができる。(知・技(1)工)	・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ) ・第4学年までに配当されている漢字を読み、第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第4学年に配当されている漢字を漸次書いている。(1)工)		進んで同音異義語や送り仮名の付け方などについて理解し、学習課題に沿って、漢字を文や文章の中で使おうとしている。
秋の楽しみ	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)才) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア)	様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)才)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に秋の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、秋の行事の様子を伝える手紙を書こうとしている。
クラスみんなで決めるには	8	◎比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表 A(1)才) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。(2)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし	積極的に役割を果たしながら話し合い、学習課題に沿って、考えをまとめようとしている。

評価基準

教 科	国 語	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		(思・判・表 A(1)ア)		ながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 (A(1)オ)	
未来につなぐ工芸品 工芸品のみによく伝えよう	12	◎事典の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ) ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(思・判・表 C(1)ウ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	・事典の使い方を理解し使っている。(2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ)	積極的に、中心となる語や文を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもって、調べて分かったことをまとめて書こうとしている。
慣用句	2	◎長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使うことができる。(知・技(3)イ) ・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア)	長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使っている。(3)イ)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	進んで慣用句の意味を知り、学習の見通しをもって、慣用句を使った文を書こうとしている。
短歌・俳句に親しもう(二)	1	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)		進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って、短歌や俳句を音読したり暗唱したりしようとしている。
漢字の広場④	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)エ)	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
友情のかべ新聞	8	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得る	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、	積極的に登場人物の気持ちの変化や性格について、場面

評価基準

教 科	国 語	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		像することができる。(思・判・表 C(1)エ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	ことに役立つことに気づいている。(3)オ)	情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	の移り変わりと結び付けながら想像して読み、学習の見通しをもって、おもしろいと思ったところを伝え合おうとしている。
もしものときにそなえよう	10	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ)	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	積極的に自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にし、学習の見通しをもって、調べて考えたことを文章に書こうとしている。
冬の楽しみ	2	◎様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア)	様子や行動を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に冬の行事やその様子などを表す語句の量を増し、学習の見通しをもって、冬の行事の楽しさを知らせるかるたを作ろうとしている。
自分だけの詩集を作ろう	4	○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア) ○詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表 C(1)カ)	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	進んで目的を意識して詩を選び、学習の見通しをもって、自分だけの詩集を作ろうとしている。
言葉から連想を広げて	2	◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することが	必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。(2)	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由	進んで連想を広げ、書き表し方を工夫し、学習の見通しを

評価基準

教 科	国 語	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		できる。(思・判・表 B(1)ウ) ○必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)	イ)	や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	もって、ひと言で詩を書こうとしている。
熟語の意味	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	第4学年までに配当されている漢字を読んでいる。((1)エ)		進んで第4学年までに配当されている漢字を読み、これまでの学習をいかして、漢字や熟語を正しく読んだり書いたりしようとしている。
漢字の広場⑤	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)エ)	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
風船でうちゅうへ		◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表 C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表 C(1)カ) ○様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	・様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、要約して紹介する文章を書こうとしている。
つながりに気をつけよう	4	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)エ)	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解している。((1)カ)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	進んで、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解し、これまでの学習をいかして、つながりに気をつけて文章を書こうとしている。

評価基準

教 科	国 語	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
心が動いたことを言葉に	7	◎書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表 B(1)オ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や詩の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、連の役割について理解している。((1)カ)	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ)	進んで感想を伝え合い、これまでの学習をいかして、心が動いたことを言葉にして書いた詩を読み合っている。
調べて話そう、生活調査隊	8	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。(知・技(1)イ) ◎目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表 A(1)ア) ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(思・判・表 A(1)ウ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(思・判・表 A(1)イ)	・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えていく。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ)	進んで、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、これまでの学習をいかして、調査の報告をしようとしている。
スワンレイクのほとり	7	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表 C(1)カ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにするこ	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ)	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	進んで一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、学習の見通しをもって、物語を読んで考えたことを伝え合おうとしている。

評価基準

教 科	国 語	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		とができる。(知・技(1)才) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表 C(1)工)		・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)力)	
漢字の広場⑥	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)工) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表 B(1)工)	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)工)	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)工)	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、文を書こうとしている。
四年生をふり返って	1	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア)	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。((1)ア)	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	進んで経験したことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。